



週報

2016~2017 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム
RI のテーマ 『人類に奉仕するロータリー』
地区のテーマ 『知恵と元気を』 ガバナー 前嶋修身

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 佐藤圭司 会長エレクト 宮野ふさ子 副会長 小島美恵子 幹事 益子伸明

〔第 3 グループ内の例会日〕 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1104 回(10 月 4 日)例会の記録

点 鐘 佐藤圭司会長
合 唱 国歌斉唱・奉仕の理想
第 2 副 SAA 栗原(憲)会員 栗原(成)会員
卓話講師 第 3 G ガバナー補佐 野本俊光様

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
34名	24名	69.69%	78.78%

会長の時間

佐藤圭司 会長

いよいよ来週は前嶋修身ガバナーにより、我々クラブへの公式訪問があります。それに先立ちまして、今回はガバナー補佐訪問ということで、所沢東ロータリーの野本俊光ガバナー補佐においでいただきました。都合により、昨日ロータリー事務所にて関係書類の閲覧で指導を頂き、無事終了致しましたのでご報告させていただきます。後ほど野本ガバナー補佐に卓話の方をよろしくお願い致します。

本日の会長の時間は、『ウェッジ』(くさびの意)という雑誌の中の特集として掲載されていた『アホウドリが広げた日本の領土、巨万の富を巡る無人島獲得競争』という記事についてです。領海と排他的経済水域を併せた面積が世界第6位である日本。この広大な水域をもたらしたのはなんと「アホウドリ」であった、という内容です。



地図を広げて日本の領域を眺めると、最東端の南鳥島から西へ、小笠原諸島、大東諸島、尖閣諸島などが点在していますが、これらの島々のおかげで経済的主権のおよぶ排他的経済水域を併せた面積は世界第6位と大きく広がっています。一体これらの島々はいつから、どのような背景で日本に編入されたのでしょうか。実は筆者は今から40年以上前、沖縄本島の東に位置する大東諸島に滞在し、地理学のフィールドワークを行ったことがあります。台風情報でおなじみの南大東島を主な研究対象として三カ月間、聞き取り調査を行いました。訪ねた農家の方々の苗字が「菊池さん」や「細田さん」など、沖縄姓とは異なる本土姓の方がおられるのに気付きました。沖縄県の離島になぜ本土姓が存在するのか。これらの人々は明治後期に八丈島から2000キロメートル余りの航海を経て、南大東島に上陸した人々の子孫であったという事です。伊豆諸島の八丈島から、はるか遠い沖縄の島になぜ上陸したのかという質問に、彼らは口を揃えて「農業をやるため」と答えました。農業をするために長い航海をして、絶海の無人島の断崖絶壁を登り上陸する必要があったのだろうか、何か釈然としない気持ちが残ったという事です。

その後調査を進めると、鎖国から解放された明治以降、小さな船を操り、数々の危険を冒して日本周辺の無人島に漕ぎ出した人々がいたということがわかってきました。彼らは大海原を越えて大東諸島のみならず広く太平洋の島々にまで進出していたのです。彼らを大海原に駆り立てた原動力は何だったのか？この

謎を解くため八丈島や沖縄の島々でフィールドワークを行う等、公文書館など長年に渡り資料収集を続けた結果、意外な結論に辿り着きました。その原動力とは巨額の富をもたらす「アホウドリ」でした。明治時代、秋に日本周辺の無人島には数多くアホウドリが飛来し、その両翼の長さはおよそ 2.4m と太平洋最大級の海鳥で、アホウドリは人間を恐れないことや、飛び立つ際に助走が必要なこともあり、簡単に捕獲されてしまったそうです。その方法とは棒を使った撲殺で、一日に一人当たり 100 羽、200 羽は容易に捕獲でき、明治 35 年の鳥島大噴火までの 15 年間でおよそ 600 万羽を捕獲しました。その羽毛量は 1200 トン、売上金額は約 100 万円で、当時の総理大臣の年棒が 1 万円の時代に、年平均にすると約 6.7 万円を売上げました。その価値にいち早く注目した八丈島の大工、玉置半右衛門の年収は現在価値に換算するとなんと 10 億円にのぼります。羽毛をむしり取るだけの玉置の事業は莫大な利益をもたらしたのです。

富豪への近道という事で無人島探検の広がりがありました。富豪となる千載一遇のチャンスを逃すまいと、アホウドリなどの鳥類を求めて日本人は太平洋を彷徨う訳です。東は北西ハワイ諸島へ、西は南シナ海の島々へ我先にと危険を顧みずに進出しました。ここに「バード・ラッシュ」とも呼ぶべき「無人島獲得競争」が繰り広げられることとなります。

この結果、日本周辺の無人島は次々に帝国「日本」に編入され、わが国の領土は拡大しました。このように、鳥類がもたらす富を認識した日本人の海洋進出は早く、現在中国政府の主張する「尖閣諸島は、日清戦争時に日本にかすめ取られた」という時期以前に、多くの日本人が既に同諸島にこの様な形で進出していたそうです。

日本の広大な排他的経済水域 (EEZ) の形式を主導したのはアホウドリだったという事で、この島は一攫千金なるという認識とその捕獲という欲求が「バード・ラッシュ」とも言うべき「無人島獲得競争」を引き起こし、凶らずもわが国の領土拡大という副産物をもたらしたという記事が載っていました。

今騒がれている日本の領土問題で、明治時代の初期にアホウドリの獲得競争があったからこそ、経済水域も大きく広がったという事が非常に面白い記事だと思っ

て本日の会長の時間と致しました。

幹事報告

益子幹事

1. 『青少年を育てる狭山市民会議 第4回理事会報告』
2. 『青少年健全育成「地域の集い」』
3. 例会臨時変更 新所沢 RC 入間南 RC

委員会報告

社会奉仕委員会

佐々木委員長

いよいよ 10 月 15 日、毎年恒例のフリーマーケットです。場所は朝日病院の駐車場で、大生病院の 4 つの建物の一番奥の建物の隣の駐車場です。

9 時に現地集合で、品物は当日の朝運びますので、社会奉仕委員の方は 8 時に事務局集合となります。お手伝い宜しくお願い致します。3 時までフリマで 4 時から懇親会がありますので、そちらの方も皆さんご参加くださいます様お願い致します。

退院報告

高田会員

ご無沙汰しておりました。私は入院していても、自分の事より他のの方の病状が心配でした。

私の病気は頸椎頸髄症で、野球の上手な選手がよくあるそうです。ここ

7~9 年は佐藤会長にお世話になり、オペはせず、針とマッサージと薬で頑張りましたが、段々と固まって字が書けなくなるという所まで来てしまったので、防衛医大の慶応出身の先生を紹介して頂きました。大体、慶応の術式というのは骨を全部開いて脊髄の圧迫感を取り除く方法です。

退院してまともに家に帰れるか、寝たきりになるか、車椅子になるか、それは分かりませんでした。

以前、寶積先生の卓話で「鷹は 40 歳頃、人生の岐路に立った時に、もう一度生き延びるために山に帰ってくちばしを取り、羽根を取り、一度死んでまた新たに生き返る。」と仰っていて、私は子供の頃に鷹を飼っていた事もあって「ああ、そうだ。一度死ねばいいんだ。」と思ってオペを受けました。

寝て起きたら手術は終わっていましたが、動かないように押さえつけられて、長い長い夜を何日も過ごして、ようやく戻ってこれました。暫くりハビリをしながら頑張ります。



「ガバナー補佐訪問」・・・・・・・・

国際ロータリー第 2570 地区

第 3 グループガバナー補佐

野本俊光様 (所沢東 RC)

今日は地区の重点方針と青少年交換について述べさせていただきます。



はじめに、4月24日に開催された地区協議会で、前嶋ガバナーから示されました地区の重点方針について、私なりの意見とお願いを申し上げたいと思います。

I 重点一は、会員増強であります。

先日開催されました第3グループの会長・幹事会でも、各クラブ会長さんも同様に会員増強を第一に挙げておられました。

クラブの会員数についてですが、20名が最低ラインではないでしょうか。何故なら、新クラブ創立のためには最低20名のメンバーが必要とされているからです。すでに創立したクラブについては、クラブの最低基準はありますが、会員数の規定はありません。

ちなみに、当地区51クラブ中、7月末時点で会員数が20名未満のクラブは19クラブあります。割合にすると38%約4割のクラブが該当します。これは決して少ない数字ではありません。最少は第4グループの児玉クラブの3名です。

お隣の2770地区は、73クラブ中で会員数が20人未満のクラブは、13クラブで17%です。

地区についてはすくなくとも75クラブ、2700名が望ましいとされています。平均すると1クラブ36名になります。又、R Iは、33クラブ未満、1,100名未満の地区の境界を廃止あるいは変更できなくなっております。

標準クラブ定款によれば、第4条(目的)にこう記載されています。

これは同時に「ロータリーとは何か」と聞かれたときの答えでもあります。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自
- 第3 の職業を高潔なものにする。
- 第4 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第5 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

この目的は、同時にロータリアンの義務でもありますので、第1項の「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」とは、新会員を推薦することは会員の義務になります。そういう私自身、未だ推薦者になったことがないで、義務を果たしていないことになり、唯一負い目と感じている点であります。

新入会員の推薦については、そう簡単なことではありません。多くは仕事上の関係者になるのではないのでしょうか。単なる仕事上の関係以上に長年の信頼と信用の上に培われた関係があればこそ、相手もこの方が勧めるならばと、安心して入会を決意することになると思います。財団・米山など以上に推薦者となることは大いに称賛されるべきことで、なんらかの報奨があつてしかるべきだと思います。

II 地区の重点方針の二つ目として、クラブ例会の充実と出席率の促進が挙げられています。

皆さんご存知のように、例会出席はメンバーの義務であり、会員資格の要件であります。

定款によれば、年度の各半期間においてすくなくとも出席率が50%に達していなければなりません。また、連続4回例会欠席も会員身分の終結につながります。これはあくまでも、会員身分の存続に関わる最低ラインでありますので、あくまでも出席は100%が原則であると考えます。

例会の中でも特に重要な例会については、万障繰り合わせて100%の出席をお願いします。

どの会合も会長が主催するものですから、決して優劣をつけるつもりはありませんが、ガバナー公式訪問や地区大会は特に重要であるといえます。

ガバナーはR I理事会の一般的な監督の下で職

務を行う、その地区における R I の役員であります。したがって、ガバナー公式訪問と地区大会は R I 役員と直接触れ合える機会でもあるわけですので、是非 100%出席を目指して頂きたいとお願いいたします。以前はどのクラブも競って 100%を目標にし、実際に多くのクラブが 100%を達成しました。最近はそのようなクラブが少なくなってしまったのはどうしてなのか分かりません。地区大会にしても金のかけすぎだとか様々な批判があることも事実ですし、その開催意味をもっとメンバーに理解してもらう努力も必要です。しかしながら、会長の面目を保てるように、是非 100%を目指して頂きたいと思っております。それにはクラブの会長がメンバー一人ひとりに呼び掛けてお願いするしかありません。

かつて、ガバナー公式訪問においてガバナーから苦言を呈されたことがあります。前から予定が分かっているのに何故出席できないのか、この例会を軽視しているのではないかとはっきりいわれました。訪問するガバナーからすればそう言いたい気持ちは分かりますし、R I の役員としての職責上言わざざるを得ないことであるといえます。ですからガバナー公式訪問は軽く考えないで頂きたいと思っております。せっかく R I の役員であるガバナーに直接会えるのですから、ロータリーに関する様々な疑問や意見を投げかけていただきたいと思っております。ただ単に形式的に迎えるだけでは意味がありませんので、この機会を無駄にしないよしていただければと思っております。

次に地区の青少年交換についてですが、実は、今年の 5 月に私の所属する所沢東ロータリークラブに、地区から「R I 青少年交換プログラム スポンサー&ホストクラブ受入れのお願い」というメールがありました。所沢市内 5 クラブに配信されたものですが、所沢市に居住する女子高校生についてフランスへの派遣が決まっているが、交換する相手の受入れ先が決まっていないので、所沢市内 5 クラブでスポンサー&ホストクラブをお願いしたいとのことでした。この相手の学生の受入れが決まらなると、すでに派遣が決まっているこちらの女子学生がフランスに行けないとのことでした。しかも出発は 8 月にせまっているということ

で、相手のクラブからも再三問い合わせが入っていたようでした。ロータリークラブの責任として、派遣を取り消すことは絶対にできないし派遣学生の将来に関わることであり、最終的には所沢東クラブの会長の決断で当クラブがホストクラブになることになりました。

この件については、すでに昨年 6 月頃に所沢西クラブに地区から打診があり、辞退していた経緯があることが分かりました。それがなぜ今日まで引き伸ばされてきたのか理解できないところであります。

費用的には一人年間 80 万円位は必要で、地区からはホストファミリーに月 35,000 円の支給があるとのことでした。

そんな中、先日、地区青少年交換委員会からの提案として、グループごとに 1 名を担当(面倒を見る)するとの要請があったそうです。

とりあえず 9 月に開催されるガバナー補佐会議で協議する予定とのことでした。この件については各クラブで協議していただき、あらためてガバナー補佐会議の前に会長・幹事会を開催しなければならないと考えております。

最後になりましたが、I M についてご報告いたします。

日時は平成 29 年 2 月 9 日を予定しております。場所は所沢ミュージズで行います。例年ですと土曜日開催がほとんどでしたが、ミュージズが土日は予約できませんでしたので平日の木曜日となります。内容は、所沢に本社があります西武鉄道に講演を依頼しております。仮題ですが「地方創生のビジョンを問う 西武グループがてがけるまちづくりとは」といったもので、所沢、入間、狭山、飯能、日高にかかる路線を有する西武鉄道が進めるまちづくりについては、皆さんの関心が高いものになると思います。具体的な内容については、未だ決まっておりますが、西武鉄道さんにおかれましては前向きに検討するとの了解を得ております。

実行委員会についてはすでに立ち上げて準備を進めております。各クラブからも委員を選出していただくことになると思っておりますので、その際にご協力をお願い申し上げます。拙い卓話で申し訳あり

ませんでした。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

第3Gガバナー補佐 野本俊光様

本日はお世話になります。

佐藤君 本日は第3Gガバナー補佐 野本俊光様、公式訪問、宜しくご指導の程お願い致します。来週のガバナー公式訪問に向けて勉強させていただきます。

益子君 野本ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願いします。

江原君 第2570地区第3Gガバナー補佐でいらっしゃいます野本俊光様、お忙しい中ようこそお出で下さいました。お話しを楽しみにしております。また勉強させていただきたいと思っております。宜しくお願い致します。

小島君 第2570地区2016-17年度第3Gガバナー補佐 野本俊光様、ようこそお出でいただきました。ホロワさん、近況を伺うのが楽しみです。

清水君 第3Gガバナー補佐 野本様、お忙しい中有難うございます。卓話宜しくお願い致します。

会員誕生祝 菊田君、高田君

夫人誕生日 野口君

結婚記念日 菊田君、清水君、若松君



※ 次の例会

10月11日(火) 12:30~13:30

第2副SAA: 松浦君 宮岡君

国際ロータリー第2570地区

ガバナー公式訪問

ガバナー 前嶋修身様

地区幹事 福島義弘様

ガバナー補佐 野本俊光様